

▼テボックスカプセル [内] ？

【重要度】

【一般製剤名】

【単位】 ▼200mg/Cap

【常用量】

体重 13kg 以上 25kg 未満：1 回 200mg， 12hr 毎

体重 25kg 以上 40kg 未満：1 回 400mg， 12hr 毎

体重 40kg 以上 120kg 未満：1 回 600mg， 12hr 毎

体重 120kg 以上：1 回 600mg， 8hr 毎

14 日間治療

【用法】 食後

症状の発現後速やかに投与を開始

【透析患者への投与方法】 設定されていない [血中濃度上昇のおそれあり] (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 設定されていない [血中濃度上昇のおそれあり] (1)

一部の代謝物の AUC 増大 (1)

【特徴】 オルソボックスウイルス属の VP37 蛋白質と細胞性 Rab9 GTPase 及び TIP47 との相互作用を阻害することによりウイルスのエンベロープ形成及びその後に続くウイルス粒子の細胞外への放出を阻害。

【主な副作用・毒性】 頭痛，めまい，消化器症状，血球減少，不安，傾眠，味覚障害など

【安全性に関する情報】

【F】

【tmax】

【代謝】 主に加水分解体され M4， M5， TFMBA に代謝 (1) UGT1A1・1A3・1A4 にてグルクロン酸抱合 (1)

【排泄】 主にグルクロン酸抱合体として尿中に 72.5%回収 (1)

【t1/2】 反復投与時 16hr (1)

【蛋白結合率】

【Vd】

【MW】 394.34 [hydrate]

【透析性】

【O/W 係数】 LogP=3.1 [pH7.0] (1)

【相互作用】 CYP3A4・2B6 の弱い 誘導剤， CYP2C8・2C19 の弱い 阻害剤 (1)

【主な臨床報告】

【更新日】 20250513

Tecovirimat Hydrate

抗ウイルス剤

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。